



CBグループマネジメント<9852>、日本政策投資銀行とマーキュリア インベストメントのTOBを受け入れて株式を非公開化



日用品・化粧品卸大手のCBグループマネジメントは、人口減少や物流コスト上昇など厳しい経営環境の中、日本政策投資銀行（DBJ、東京都千代田区）と投資会社のマーキュリアインベストメント（東京都千代田区）によるTOB（株式公開買い付け）を受け入れ、株式を非公開化する。DBJとマーキュリアの経営支援を受け、海外展開やDX（デジタルトランスフォーメーション）化などの施策を進め、成長戦略を推進するのが狙い。

買付代金は最大175億円。

TOBを実施するのはDBJと、DBJを主要株主とするマーキュリア傘下のファンドが設立したC Holdings（東京都千代田区）で、全株式の取得を目指す。買付価格は1株につき8058円。TOB公表前営業日の終値5240円に53.78%のプレミアムを加えた。

買付予定数は218万3303株。下限は所有割合65.87%にあたる143万8200株。買付期間は2025年2月6日～3月24日までの30営業日。決済の開始日は3月31日。公開買付代理人は大和証券。CBグループマネジメントはTOBに賛同し、株主に応募を推奨している。

CBグループマネジメントは1950年に中央石鹼として設立し、1970年に商号を中央物産に変更した。1989年に株式を店頭登録、2004年にジャスダック市場に上場（2022年4月に東証スタンダード市場に移行）。2016年の持ち株会社制への移行に伴い現社名となった。